

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.30					2.4
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		1.8	0.35					1.8
2.1 室温制御		2.6	0.50					
1 室温		2.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		2.1	0.25					2.1
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		2.0	0.30					
1 昼光制御		2.0	1.00					
3.3 照度		2.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.5	0.25					3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆又は規制対象外の建材を採用	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御		3.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		2.6	0.40					2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.50					
3 バリアフリー計画		3.0	0.50					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観		-	-					
2 リフレッシュスペース	執務室の1%以上の休憩室を確保、自動販売機の設置	5.0	0.50					
3 内装計画		1.0	0.50					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	塗り床:30年、PB(壁・天井):30年、EP塗装:30年	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクトにガルバリウムを採用	4.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩ビライニング鋼管、給湯:ステンレス管、排水:塩ビ管	4.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20					

2.4	信頼性			2.8	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				4.0	0.30		-	4.0
3.1	空間のゆとり			4.6	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	階高のゆとり	最も低い階高:4.5m	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比:0.11	4.0	0.40	-		
3.2	荷重のゆとり			5.0	0.30		-	
							-	
3.3	設備の更新性			3.0	0.40		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40		-	2.4
1	生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI:0.795		5.0	0.01		-	5.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -		3.5	0.62		-	3.5
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI:0.95	3.5	1.00		-	
		集合住宅の評価(3c)		[Cross-hatch pattern]	-		-	
4	効率的運用			2.0	0.25		-	2.0
		集合住宅以外の評価		2.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
		集合住宅の評価		[Cross-hatch pattern]	-		-	
	4.1	モニタリング		[Cross-hatch pattern]	-		-	
	4.2	運用管理体制		[Cross-hatch pattern]	-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	2.8
1	水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
	1.1	節水	過半に節水器具を採用	4.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6	躯体材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上材となっており躯体と仕上材の分別が容易	4.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
		1	消火剤	-	-		-	
		2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50		-	
		3	冷媒	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	LCGO2排出率:97%		3.1	0.33		-	3.1
2	地域環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
	2.1	大気汚染防止	オール電化の建物である	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25		-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
		3	交通負荷抑制	1.0	0.25		-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
		1	騒音	3.0	1.00		-	
		2	振動	-	-		-	
		3	悪臭	-	-		-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70		-	
		2	砂塵の抑制	[Cross-hatch pattern]	-		-	
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	
		2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	
			広告物照明なし				-	